

ている。

埋土は井戸内に自然堆積した粘土層である下層と、廃棄後に一気に埋められたと思われる上層に分けられ、上層からは土師器皿・鍋や陶器類、青磁などが若干出土し、下層からは呪符木簡のほか曲物の蓋板などの木製品が出土した。

8 木簡の釈文・内容

(1) ・「蘇民将^{〔来カ〕}□」

・「 ☆ 」

220×32×5 032

木簡は、井戸SE2の底部から出土した。上層の遺物が一五世紀後半から一六世紀前半頃に比定されており、下層からの出土なのでそれ以前、一四～一五世紀のものであろう。表面に四文字分墨書が残っており、蘇民将来札であることがわかる。また、裏面には安倍清明判のセーマンが記してある。

9 関係文献

三重県埋蔵文化財センター『伊勢寺遺跡』（平成2年度農業基盤整備事業地域埋蔵文化財調査報告―第2分冊―、一九九一年）

（福田哲也）

